

中国・四国地方唯一の国連機関

ユニタール

国連訓練調査研究所(UNITAR)広島事務所 と広島への平和への取組



「世界遺産の管理と保全」研修参加者

広島発の平和のための取組が、
大きく広がることを願っています。

広島は、廃墟からの復興の中で、
平和の大切さと人づくりの重要性を感じてきました。
このため、「創り出す平和」の理念のもとに、
この広島に、平和のための人材育成を行う国連機関である
ユニタールの広島事務所を誘致し、地域をあげて支援しています。

広島県

ひろしま平和貢献ネットワーク協議会

ユニタール広島事務所

中国・四国地方唯一の国連機関ユニタール

平和のための人材育成を目的とした国連機関であるユニタールの世界で2つの支部の1つが広島にあります。

(1) 平和のための人材育成の国連機関ユニタール

ユニタール(UNITAR)は、国連の総会によって設立された、平和のための人材育成を目的とする機関です。

United Nations Institute for Training and Research(国連訓練調査研究所)の略称

(2) 広島で平和のための人材育成を実施

開発途上国や紛争終結国などの国づくりを担う専門家を広島に招き、平和のための人材育成をめざしたプログラムを実施しています。

(3) 広島事務所の研修プログラム

紛争からの復興(アフガニスタン・プロジェクト) 国際経済と金融
世界遺産の管理と保全 生物多様性
海洋と人間の安全保障 研修方法論と専門家育成

上記研修プログラム以外に国際会議やラウンドテーブルを開催しています。

国際的に著名な専門家を招いた県民参加型の講演会



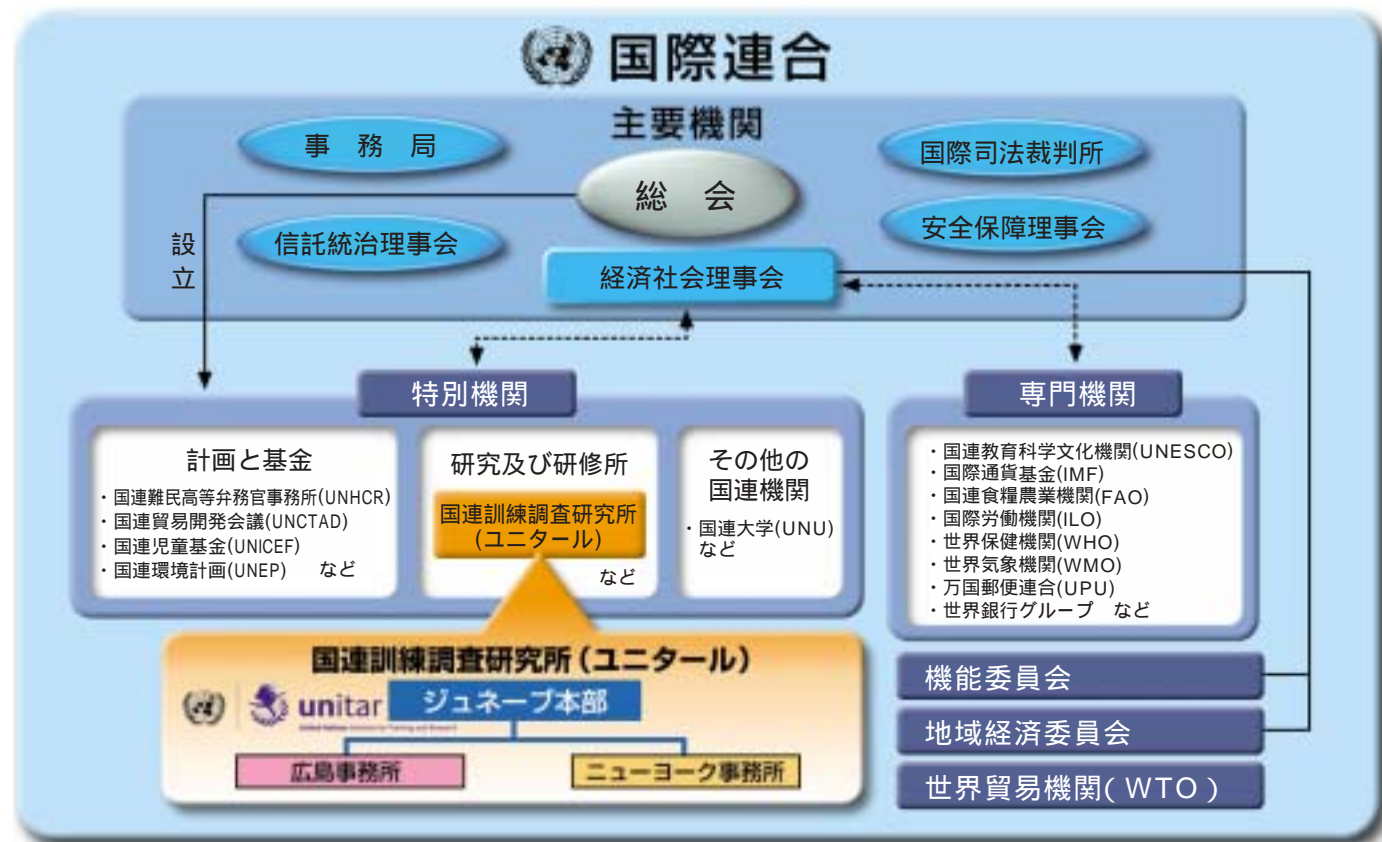
ユニタール広島事務所



ユニタールの組織

ユニタール本部：ジュネーブ(スイス)
支部：ニューヨーク事務所、広島事務所

国連におけるユニタールの位置づけ



(注) 主要機関からの実線は報告関係を示す、点線は協力関係を示す

【ユニタール広島事務所の概要】

正式名称：United Nations Institute for Training and Research Hiroshima Office(国連訓練調査研究所広島事務所)

設立年月日：平成15(2003)年7月15日

設置場所：広島商工会議所ビル5階

運営体制：国際スタッフ2人、ローカルスタッフ5人程度

ユニタール広島事務所ホームページ <http://www.unitar.org/hiroshima/>

みんなで支えるユニタール広島事務所

広島に立地する国連機関ユニタールを地域をあげて支援しています。

(1) ひろしま平和貢献ネットワーク協議会を中心に活動支援

県内の平和貢献に関係する、行政、経済団体、大学、JICA中国国際センターなどの国際関係機関などにより「ひろしま平和貢献ネットワーク協議会」を設立し、ユニタール広島事務所の活動を支援しています。

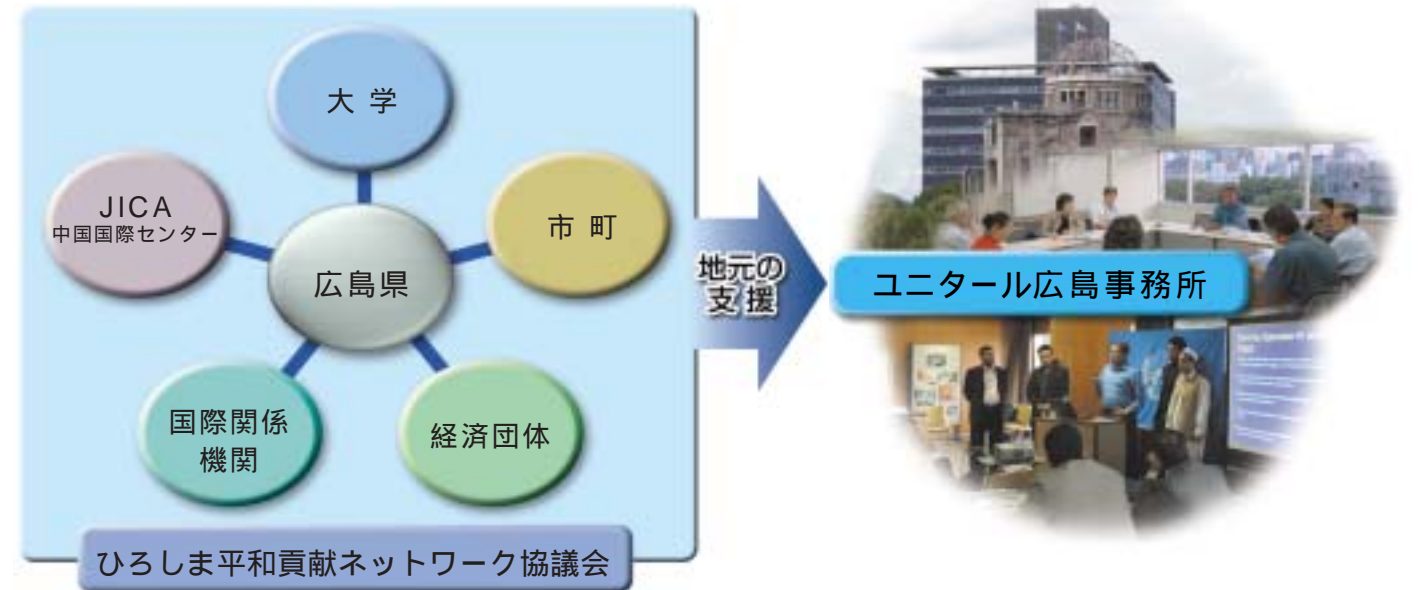
(2) 広島県内の大学・研究機関・行政等が協力して研修実施

広島大学などの県内の大学や水産海洋技術センター等の研究機関、県や市町、NGOなどが、ユニタール広島事務所の研修実施に協力しています。

(3) プログラム実施経費や事務所運営経費等を地域で支援

広島県をはじめとして、広島市や経済団体がその活動を経費面でも支援しています。

ユニタール広島事務所の支援の仕組み



ひろしま平和貢献ネットワーク協議会構成団体(28団体)

(平成21(2009)年3月現在)

会長	広島県知事 藤田雄山	
構成員	行政	広島県、広島県市長会、広島県町村会、広島県教育委員会
	大学	広島大学、県立広島大学、広島市立大学、広島経済大学、広島修道大学
	国際関係機関	JICA中国国際センター(独)国際協力機構中国国際センター) (財)ひろしま国際センター、(社)中国地方総合研究センター、(財)放射線影響研究所、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター、広島県PTA連合会、広島県高等学校PTA連合会、(社)広島県子ども会連合会、日本ボーイスカウト広島県連盟、(社)ガールスカウト日本連盟広島県支部、広島県地域女性団体連絡協議会、特定非営利活動法人平和貢献NGOsひろしま、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
	経済団体	中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、(社)日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会、(社)広島青年会議所、(財)ひろしま産業振興機構

人づくりを担う国連機関ユニタールの役割と歩み

ユニタールは、国づくりを担う人材の重要性に着目して、平和のための人づくりを担う国連機関として生まれました。

開発途上国の国づくりのための人材育成
世界中の優秀な専門家を活用し、開発分野での技術やノウハウを開発途上国の研修生に伝えています。



研修参加者によるプロジェクト発表会

ユニタールの役割



広島ならではの特色ある研修プログラム

ユニタール広島事務所は広島に立地する意義を活かして、次のような特色のあるプログラムを実施しています。



研修風景

広島の特性や資源を活かしたプログラム
原爆からの復興経験、世界遺産原爆ドームと厳島神社、瀬戸内海等をプログラムに選定しています。

広島の優れた技術やノウハウ等を研修
県内からも優秀な専門家が研修講師として参加し、広島の技術やノウハウ、チームワークや協働、おもてなしの心を研修生へ伝えています。

広島訪問により平和と復興の思い高まる
研修生自らが広島の地を訪問することで、平和の重要性を強く認識し、自国の開発に役立っています。

ユニタール広島事務所の主な研修プログラム

主な研修プログラム	研修内容	
世界遺産の管理 と保全	研修生	世界遺産の管理運営を担当する政府職員や管理者や研究者
	内容	世界の貴重な自然・文化遺産の有効な管理手法や保全政策を議論
海洋と人間の 安全保障	研修生	農林水産、環境資源、海洋分野の政府職員や研究者
	内容	瀬戸内海からみた海洋資源や海洋管理の現状と課題を議論
紛争からの復興 (アフガニスタン・プロジェクト)	研修生	アフガニスタンの復興の指導者となる政府関係者や研究者・開発専門家
	内容	過去のアジア太平洋地域での紛争からの復興状況の検証とアフガニスタンの復興支援策を議論
	講師	シンガポール国際財団、マイクロソフト・コーポレーション、カルガリー大学、インド国立野生動物研究所、広島大学 等

「紛争からの復興」については、年間3回の研修(インドで2回、広島で1回)と年間を通じた通信教育を実施

ユニタールは、昭和40(1965)年に設立され、ジュネーブに本部があります。

特に平和と安全および経済的・社会的発展などの分野における適切な訓練と研究を通して国連の主要目的の実現のための有効性を強化することを役割としています。

ユニタールは主に開発途上国の政府関係者、学識者、市民社会の代表などにむけた研修プログラムを実施しています。

ユニタールの歩み

90年代初期における再編成・改革以来、プログラムの回数や参加者数において急速な発展を遂げ、平成8(1996)年8月には国連本部で働く各国政府代表者にむけた研修プログラムを実施するためにニューヨーク事務所を開設しました。

ユニタール広島事務所は、ニューヨークに続く2番目の事務所として、平成15(2003)年7月に開設されました。



原爆ドームを望むユニタール広島事務所のセミナールーム

世界約60カ国から集う研修生と講師

ユニタール広島事務所が主催する事業には、世界各国から研修生と講師が集まって、広島を中心としたグローバルな人的ネットワークが生まれつつあります。



ラウンドテーブル

アジア太平洋地域を中心に世界から集まる研修生主にアジア太平洋地域の開発途上国の政府・大学・民間企業・NGO等から専門家が研修生として参加しています。

世界各国から優秀な専門家を講師として招へい
国連の人的ネットワークを通じ、世界各国の政府・大学・民間企業・国連機関・国際機関から高いレベルの専門家が招へいされ、研修生の指導をしています。また、過去の研修生の中からも、講師が選ばれることもあります。

開設以来5年間で延べ1400人が参加
平成15(2003)年から5年間で世界約60カ国から約1400人が参加し、このうち約900人が広島の地を訪れました。

ユニタール広島事務所の研修等に参加した研修生と講師



現地視察 厳島神社(宮島)



現地視察 広島中央卸売市場(広島市)

ナスリーン・アジミ所長からのメッセージ

「一年を考えるときは種をまけ。10年を考える時は木を植えよ。100年を考えるときは人を育てよ。」という言葉があります。

広島の復興の歴史は、国連の歴史と同様の長さを持っています。この60年間に、広島の人々は、この場所を社会的・商業的中心地として、また国民の平和への願いの象徴の場として再建しました。

研修参加者は、紛争等で経済社会基盤の崩壊した開発途上国の国づくりを背負っている専門家らで構成されています。彼らは、このような広島の持つ原爆の廃墟からの復興経験や原爆ドームという人類の負の遺産から、復興開発のための知識やノウハウを習得すると同時に、広島の人々の「平和」を希求する精神に深い感銘を受けます。つまり、広島の持つ、荒廃と復活、悲劇と希望、暗い影と現代繁栄といった相反性に心を打たれ、広島のような平和なまちに再建したいとの「希望」を母国に持ち帰っていきます。

ユニタール広島事務所は、これからも、常に広島から力を得て、その平和のメッセージを、人材育成研修という地道ですが着実な活動を通して、世界に伝えることに努めていきます。



ナスリーン・アジミ
ユニタール広島事務所所長



ユニタール広島事務所スタッフ

研修生の声

ラジュディー・ムケルジ

インド
政府機関ベンガル湾
プログラム
リサーチ・アソシエイト
「海洋と人間の安全保障」研修
2008年研修生



研修の中で、私たち研修参加者は実務面での平和と包括的安全保障とは何を意味するのかをグループに分かれて議論しました。そして、その議論は、私が、政策の方向性の決定の過程で、「平和」と「紛争の解決」を考慮することが必要であると理解するのに役立ちました。

ムハマドアクバー

アフガニスタン
NGOメディア・サポート・
パートナーシップ・
アフガニスタン所長
「紛争からの復興」研修
2008年研修生



日本、とりわけ広島は、悲惨な原爆の記憶から、人間の葛藤する心を、直に語りかけます。
平和記念公園訪問や、日本の多宗教の共存、高い社会規範意識、チームワークと協働、地域社会への奉仕の精神などは研修参加者にとって多くの糧となりました。もし、アフガニスタン人が世界で1カ国だけへ訪問できるとすれば、日本へ行くように勧めます。なぜなら、日本人は、全宗教に共通の精神である「調和」「協力」「奉仕」といった精神を受け継いでいるからです。

マリベス・レイ・メンジャス

フィリピン
カガヤン経済区庁
観光計画・環境管理
コンサルタント
「世界遺産の管理と保全」研修
2008年研修生



研修とは、新しい眼鏡を与えられて世界を見るようなものです。生物の多様性や自然遺産の保全に触れる機会が増え、文化遺産に関する知識も増えます。今後は、観光計画プロセスに対してより強力なアプローチをとれるでしょう。

平和への、小さな、しかし意味のある一歩

長年の紛争で荒廃したアフガニスタンの復興を担う政府関係者、大学教員、技術者等を対象に「紛争からの復興(アフガニスタン・プロジェクト)」研修を平成15(2003)年から毎年実施してきました。

その研修参加者が、アフガニスタンの復興のため、知の集積としての百科事典の重要性に気づき、研修の中で、百科事典の製作プロジェクトを企画しました。

研修終了後、研修参加者は、母国にこの企画を持ち帰り、ユニタールや政府からの協力を得て、初の総合的な百科事典を製作しました。「知」の復興への一歩を踏み出しています。



2008年「紛争からの復興(アフガニスタン・プロジェクト)」研修参加者代表より、知事へ百科事典を贈呈

「創り出す平和」のための広島県の取組

広島県では、「ひろしま平和貢献構想」の「創り出す平和」の実現のために、幅広い取組を進めています。

ひろしま平和貢献構想（平成15(2003)年）の策定

原爆による^{ばいきよ}廃墟から、人々の努力と国内外からの支援により復興した経験を活かし、国際機関、大学、NGO、地方自治体等の連携による広島発の「創り出す平和」を目指すこととし、平成15(2003)年に「ひろしま平和貢献構想」を策定しました。

この構想に基づき、ユニタール広島事務所の支援を通じた平和のための人材育成のほか、ひろしま国際プラザにおける開発途上国の人づくり協力や、海外での国際貢献プロジェクトに取り組んでいます。

ひろしま国際プラザにおける開発途上国の人づくり協力

平成9(1997)年、日本で唯一の、JICA(国際協力機構)と地方自治体の共同施設として、国際人材育成の拠点施設である「ひろしま国際プラザ」を東広島市内に整備しました。

この施設を活用して、JICA中国¹と(財)ひろしま国際センター²が毎年、開発途上国等から多くの研修員を受入れ、環境や地方自治など幅広い分野の技術研修をはじめ、日本語・日本文化研修などを実施しています。



「ひろしま国際プラザ」全景



研修風景



地域の行事に参加・交流する研修員

ひろしま国際プラザホームページ <http://hiint.hiroshima-ic.or.jp/hip/index.html>

海外での国際貢献プロジェクトの実施

広島県は、JICA等と協力して、カンボジアに専門家を派遣し現地教員の指導能力の向上をめざした教育分野の復興支援プロジェクトなど、「創り出す平和」に向けた取組を推進しています。

詳しい内容は、広島県のホームページで紹介しています。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp>

(教育・文化・交流>国際交流>国際協力・平和貢献)

1 JICA中国：独立行政法人国際協力機構(JICA)中国国際センターの略。開発途上国からの研修員の受入れや日本からの専門家・青年海外協力隊の派遣などを行うJICAの中国地方の拠点施設。

2(財)ひろしま国際センター：平成元(1989)年に、広島県を中心に、県内の行政と民間企業等で設立した公益法人。国際交流・多文化共生の推進、国際人材育成、NGO活動の支援等を実施する広島県の国際化の中核組織。

<お問い合わせ>

ひろしま平和貢献ネットワーク協議会事務局(広島県庁国際課内)

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県庁本館3F

TEL:082-513-2366 FAX:082-228-1614